

宮之城町「少年の船」～甑島での4日間～

宮之城町「少年の船」事業は、明日の郷土を担う青少年の育成を目的として、昭和63年度から実施しています。

本年度は、7月27日から30日までの3泊4日、姉妹町村の「里村」において、小・中学生57人が参加して行われました。

豊かな海に囲まれた里村の自然にふれ、異年齢による共同生活を体験するなか、海水浴では、ウインドサーフィンやカヌーにも挑戦し、また、水中展望船に乗って、里村の美しい海中を鑑賞するなど、多くの感動を体験しました。

この活動を通して、多くの友だちもでき、思いやりの気持ちやリーダーとしての自覚を深め、今後の学校や地域での活動などに活かしてくれることを期待します。



協力して火をおこす子どもたち



きれいな海で楽しい海水浴



カヌーに挑戦



調印式の様子



町長らと握手を交わす佐藤社長

立地協定調印式

7月30日、時吉の倉内工業団地に立地されている株式会社サトウ精工の第3工場増設に係る立地協定調印式を行いました。

同社は、平成元年に操業を開始され、プラグ部品のほか精密機械、医療機器部品などを生産されており、平成15年にも第2工場の増設を行い生産体制の強化をされております。現在従業員は57人となっております。

今回増設される第3工場では、ディーゼルエンジン用点火プラグ部品を月15万個生産される計画となっております。操業開始予定は今年11月で15人程度の従業員を採用される見込みとなっております。今回の増設により、今後の本町産業の高度化と工業の振興、そして何よりも町民の就業の場として大きく貢献するものと期待されます。